



上田薬剤師会 発

薬剤師の

ちょっと薬に立つお話

YAKUNI
TATSU
OHANASHI
VOL.48

Vol.48

地域の皆さんの健康のために
さまざまな活動をしている
上田薬剤師会から、
健やかな毎日をつくるために
ちょっと役立つお話を
お届けしていきます。
毎月「第2土曜日」の
週刊うえだを、どうぞお楽しみに!

今月のTOPICS

上田薬剤師会主催

第35回 薬草・ハーブに親しむ会が 開催されました!

7月30日(日)、雨上がりのさわやかな菅高原に、今年もたくさんの参加者が集いました。長野県薬草栽培試験地にて行われた毎年恒例の「薬草・ハーブに親しむ会」は今年で35回目。リピーターの方も多く、今年も大盛況でした。

講演 「身近な薬草～毒草にご注意を～」
昭和大学 薬学部講師 / 磯田進先生

「あの植物が毒草だったなんて!」実物を手にしながら、私たちの身近にある薬草と毒草について、ていねいに解説いただきました。参加者は皆、資料を片手に真剣に聞き入っていました。



実演コーナー



◀ラベンダースティック教室。摘みたてのラベンダーをリボンで巻くのが意外に難しく、時間を忘れて夢中になる楽しさです!



完成品の例

▼薬味酒コーナー。会員の手で数カ月前から漬け込まれた薬味酒を、桂皮、大棗、当帰の3種から1本お持ち帰りできます。



▲お香づくり体験。みんなそれぞれに工夫して、オリジナルのお香づくりを楽しみました。



▲試飲コーナーの朝摘みハーブティーは、心が洗われるさわやかな香り。



◀毎年大人気の薬膳がゆ。やさしく深い味わいは行列の価値あり!



▲広大な土地に、約40種のハーブと100種の薬草が育てられています。クイズに答えながら回る「薬草オリエンテーリング」は、なかなか難易度高!

ご来場いただいた方、ありがとうございました。来年もお待ちしております!!

特集 「かかりつけ薬剤師」

もう、お持ちですか?



これまでこの紙面で何度もお伝えし、上田薬剤師会として皆様におすすめしてきた「かかりつけ薬剤師」。みなさん、もうお済みですか? あらためて「かかりつけ薬剤師」の良いところを、薬剤師の増田和也さんに聞きました。

🍷 おくすり情報をひとまとめにし、継続的に管理します。

たとえば複数の医療機関を受診していると、知らないうちにお薬の内容が重複することがあります。特に胃腸薬や鎮痛薬などは、どの診療科でも処方される確率が高く、ダブルがちです。しかしかかりつけ薬剤師が一人いれば、処方された薬の内容をまとめて管理してくれるので、飲み過ぎや重複、飲み合わせなど問題点をチェックしてもらえます。

🍷 いつも同じ薬剤師が対応します。

薬局では個々の患者さんがこれまで処方されたお薬の履歴(薬歴)を記録していますが、さらにいつも同じ薬剤師が顔を見ながら対応すれば「記憶」からも患者さんと向き合うことができます。

体の調子のこと、家族のこと、趣味のこと、なんでもご相談いただいて、ご自分の健康につなげていただきたいと思います。

🍷 いつでもお薬の相談をすることができます。

薬局が開いていない時間でも、24時間365日、いつでも電話でお薬の相談をしていただけます。△夜中に間違えて薬を飲んでしまった △急な発病に手持ちの薬で対処できるか…など、時間外においても不安や疑問にお答えします。

🍷 医療機関との連携をはかります。

たとえば調剤時に、お薬の種類や量が前回と違っていた場合、患者さんの症状と処方内容を照らし合わせて確認します。もしも疑問が生じれば、医療機関に問い合わせ確認したり相談する等対応します。

🍷 「かかりつけ薬剤師」には条件が

ただし「かかりつけ薬剤師」は、誰でもなれるわけではありません。次のような要件を満たし、安定的に地域にしっかり根付いたベテラン薬剤師である必要があるのです。

- 薬局勤務経験が3年以上
- 同じ薬局に6カ月以上在籍し、週32時間以上勤務している
- 薬剤師認定制度認証機構の研修認定を取得している
- 医療にかかる地域活動の取り組みに参画している

「かかりつけ薬剤師」の登録は、同意書に患者さんの署名をいただき、おくすり手帳に薬剤師名と薬局名を記載します。1名限定ですが、変更は可能です。詳しくはかかりつけ薬局の薬剤師におたずねください。



▲「かかりつけ薬剤師」同意書のイメージ



あなたやあなたの家族に親身になって対応してくれる「かかりつけ薬剤師」を見つけて、健康で安心した生活を送りましょう!

はい、お答えします!

Q 子どもが「薬が苦い」といって飲んでくれません。こんな時、ミルクに混ぜて飲ませても大丈夫ですか? (上田市住吉 28歳 女性)

A ミルクに混ぜるのはおすすめできません。口に合わない、主食であるミルク自体を嫌いになることがあります。乳幼児であれば、粉薬を少量の水で溶いてペースト状にし、上あごに塗りつける方法が一般的です。離乳食後であれば、少量のアイスやジャム等に混ぜ、少しずつ食べさせてみましょう。

また、ミルクとの相性が悪い薬や、果汁等で苦みが増すような薬もあります。詳しくはかかりつけの薬剤師・薬局にご相談ください。

このコーナーでは毎月、読者の方からの質問に薬剤師がお答えします。お薬に対する素朴な疑問、質問、なんでもお寄せください。

宛先 八ガキ 〒386-0012 上田市中央6-3-41 週刊うえだ「はい、お答えします!」係
メール weekly-ueda@po3.ueda.ne.jp FAX 0268-22-6201

